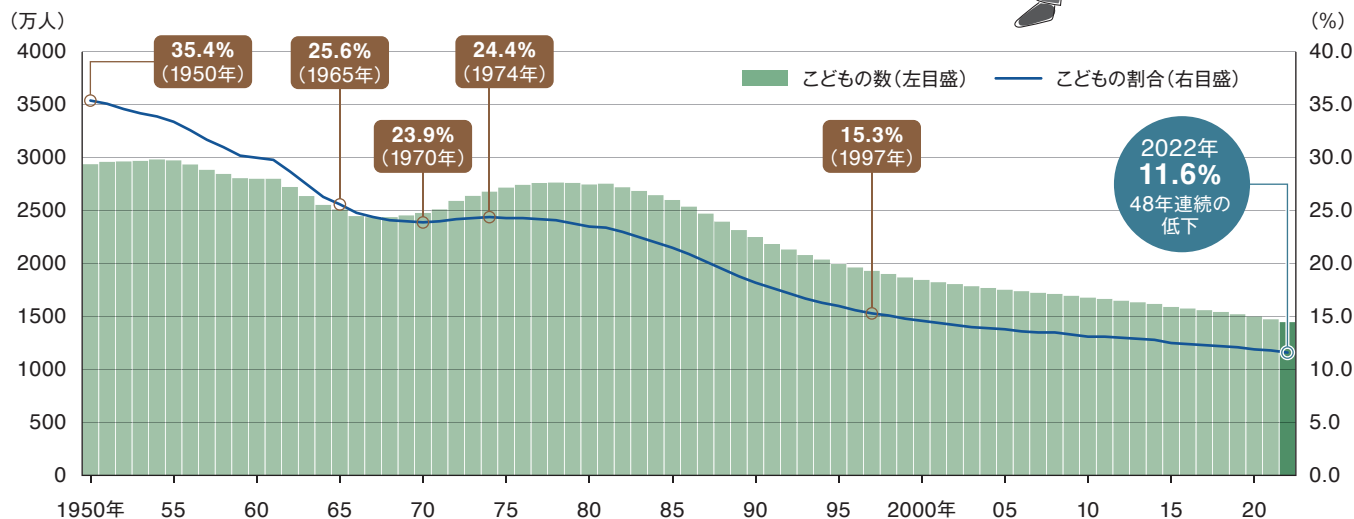


こどもの割合は11.6%、48年連続の低下



こどもの数及び割合の推移(1950年~2022年)

こどもの割合(総人口に占めるこどもの割合。以下同じ。)は、1950年には総人口の3分の1を超えていましたが、1965年には総人口の約4分の1となりました。
 なお、こどもの割合は、1975年から48年連続して低下しています。



資料:「国勢調査」及び「人口推計」

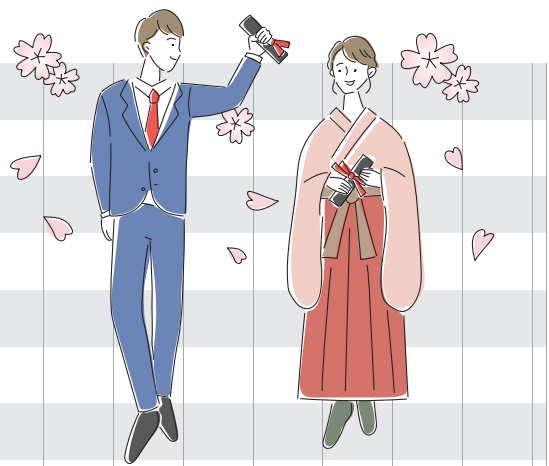
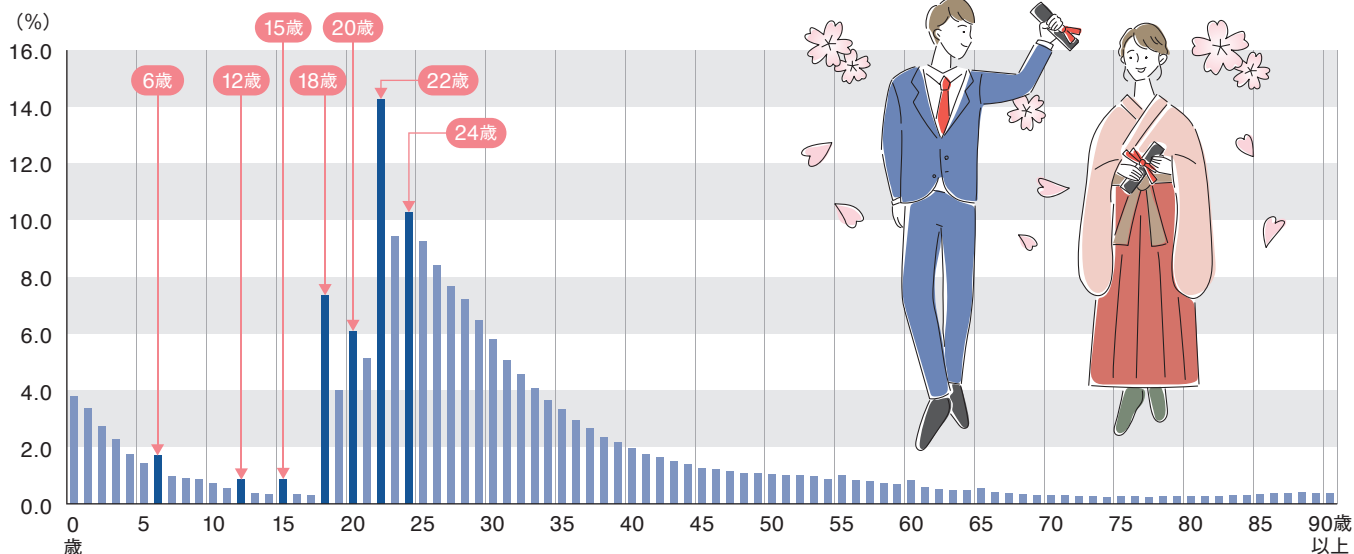
20歳代の移動が活発。ライフイベントをもたらす年齢で移動率が高い

年齢各歳別都道府県間移動率(2021年)

2021年に都道府県の境界を超えて住所を移した人の総人口に対する割合を示す都道府県間移動率を年齢各歳別にみると、22歳が14.27%と最も高く、次いで24歳(10.28%)、23歳(9.42%)、25歳(9.24%)、26歳(8.42%)など、20歳代が上位10区分のうち9区分を占めており、20歳代の移動が活発であることがうかがえます。

また、小学校の入学年齢である「6歳」、中学校の入学年齢

である「12歳」及び高校の入学年齢である「15歳」で、前後の年齢と比べて移動率が高くなっています。こうしたライフイベントをもたらす年齢で移動率が高くなる現象は、大学等の入学年齢に当たる「18歳」、専門学校・短大の卒業年齢に当たる「20歳」、4年制大学の卒業年齢に当たる「22歳」及び大学院の修士課程修了年齢に当たる「24歳」でも見られます。



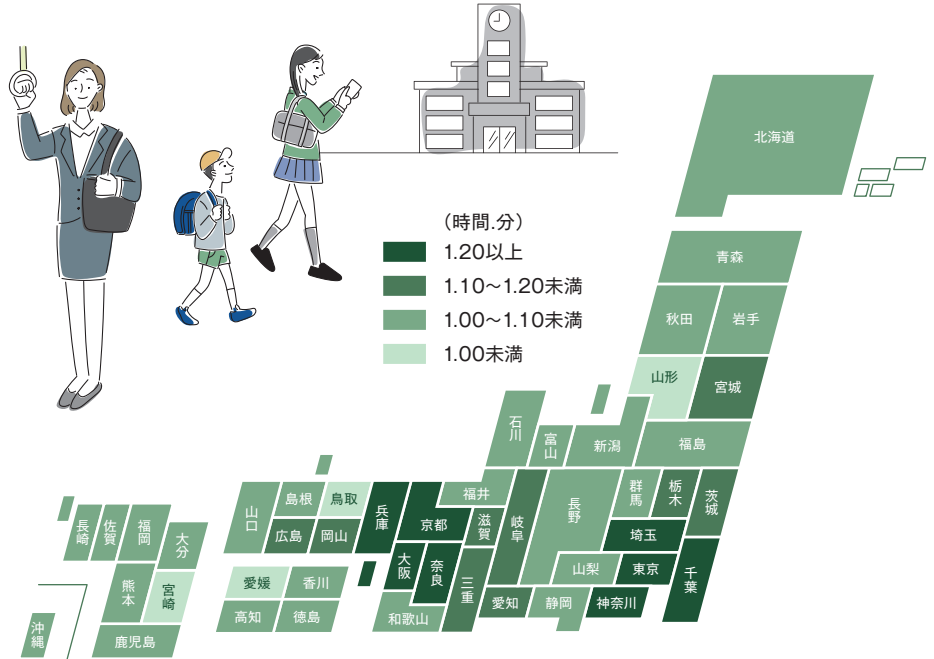
資料:住民基本台帳人口移動報告結果

通勤・通学時間は関東地方で長い

都道府県別通勤・通学の行動者平均時間(2021年)-平日

平日に通勤・通学を行った人について、通勤・通学時間(行動者平均時間)を都道府県別にみると、神奈川県が1時間40分と最も長く、次いで千葉県及び東京都などとなっており、関東地方で長くなっています。一方、山形県及び宮崎県が56分と最も短く、次いで愛媛県、鳥取県などとなっています。

上位、下位都道府県		
順位	都道府県	通勤・通学時間 (時間.分)
	全国	1.19
1	神奈川県	1.40
2	千葉県	1.35
2	東京都	1.35
4	埼玉県	1.34
5	奈良県	1.28
6	大阪府	1.27
7	兵庫県	1.24
8	京都府	1.21
9	茨城県	1.18
9	愛知県	1.18
41	秋田県	1.00
41	新潟県	1.00
41	石川県	1.00
44	鳥取県	0.59
45	愛媛県	0.57
46	山形県	0.56
46	宮崎県	0.56

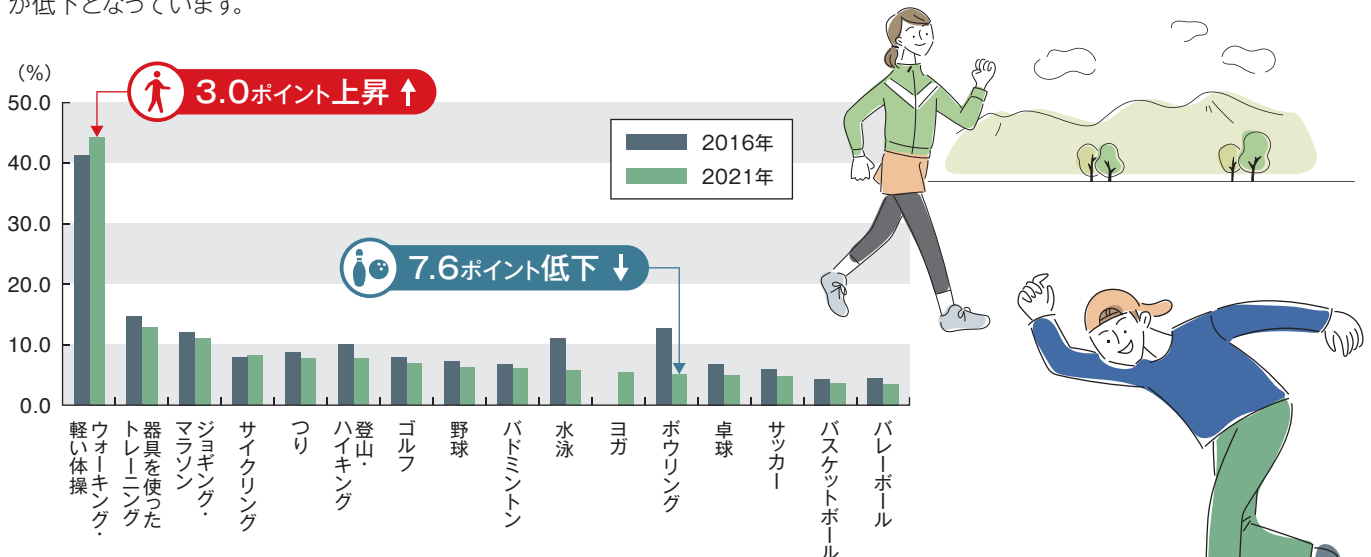


資料: 社会生活基本調査結果

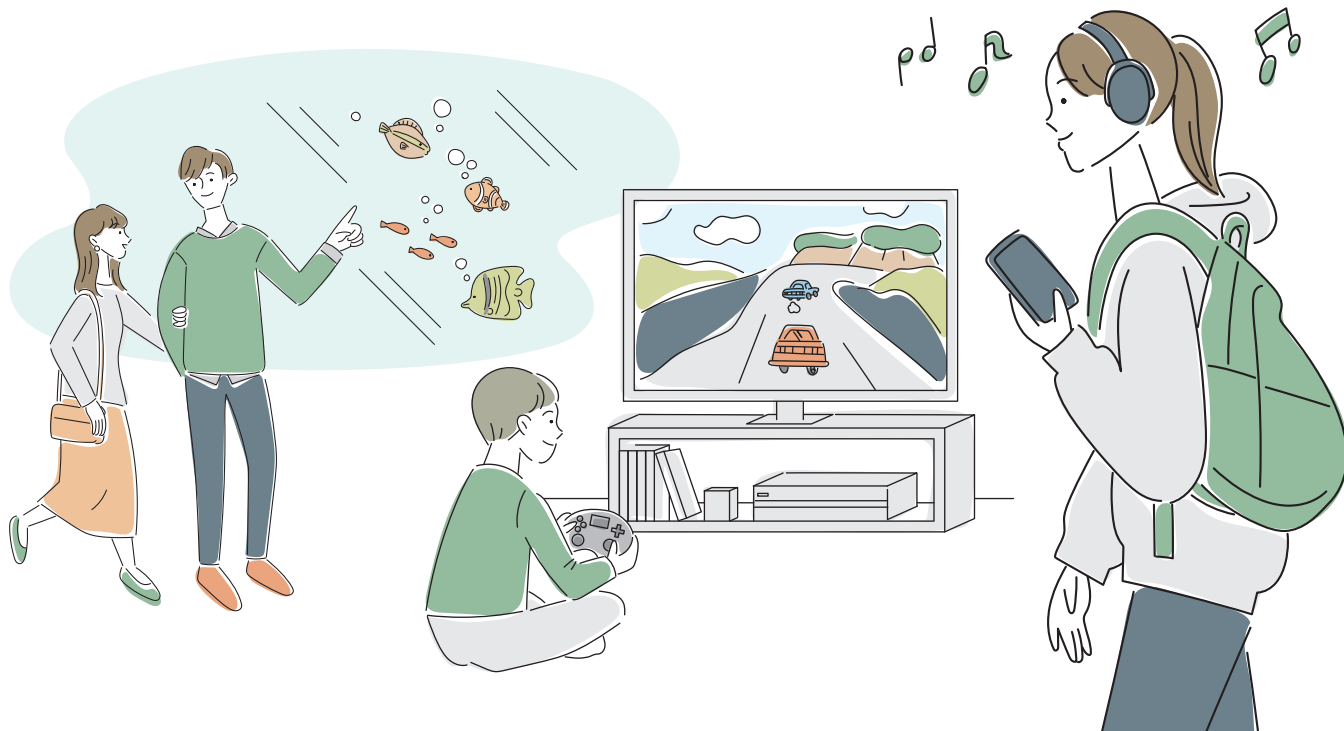
「ウォーキング・軽い体操」及び「サイクリング」は行動者率が上昇した一方、「ボウリング」及び「水泳」を始めとしたほとんどのスポーツで低下

「スポーツ」の種類別行動者率(2016年、2021年)※1※2

「スポーツ」の種類別行動者率※3を2016年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」は3.0ポイントの上昇、「サイクリング」は0.3ポイントの上昇となっている一方、「ボウリング」は7.6ポイントの低下、「水泳」は5.3ポイントの低下となるなどほとんどのスポーツが低下となっています。



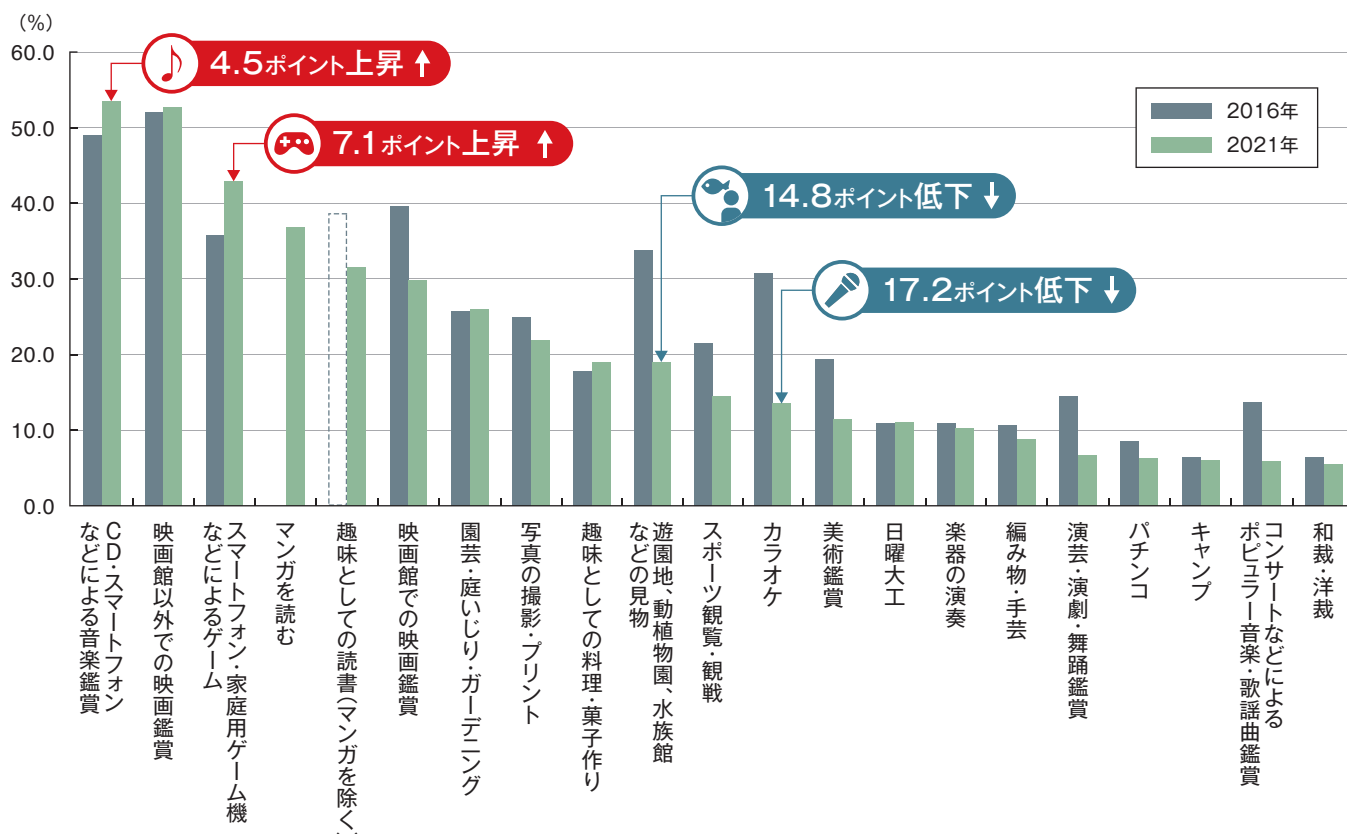
※1 「ヨガ」は2021年に固定項目に追加
 ※2 「スポーツ」の種類は男女総数(2021年)の行動者率が3.5%以上の種類を表章
 ※3 行動者率とは、過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合(%)
 資料: 社会生活基本調査結果



「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」などは行動者率が上昇した一方、「カラオケ」及び「遊園地、動植物園、水族館などの見物」の行動者率は大幅な低下

「趣味・娯楽」の種類別行動者率(2016年、2021年)^{*1}^{*2}

「趣味・娯楽」の種類別行動者率^{*3}を2016年と比べると、「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」は7.1ポイントの上昇、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」は4.5ポイントの上昇となっている一方、「カラオケ」は17.2ポイント、「遊園地、動植物園、水族館などの見物」は14.8ポイントとそれぞれ大幅な低下となっています。



※1 「趣味としての読書(マンガを除く)」は、2016年は「趣味としての読書」としてマンガを含めて把握しており、マンガを除いている2021年は定義の変更があるため比較には注意を要する。また、「マンガを読む」を2021年に固定項目に追加している。

※2 「趣味・娯楽」の種類は男女総数(2021年)の行動者率が5%以上の種類を表章

※3 行動者率とは、過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合(%)

資料: 社会生活基本調査結果